

ペタンク通信

北海道ペタンク協会
No.77 2012年8月
発行責任者 上杉晃央

◇◇◇第18回北海道オホーツクオープンペタンク大会◇◇◇

オホーツクは天候に恵まれ、ここちよい暑さの中51チームが試合に臨んだ。

ベスト8にむかわ2、美幌2、北見2、安平、むかわ東京の強豪チームが進出。オホーツクミントは1回戦11対5、2回戦11対8、3回戦11対10と接戦を制して、準決勝に進み11対7、決勝は安平FIに11対6と夫婦のチームワークを発揮し優勝に輝いた。

大会前夜恒例のオホーツクビール園での交流会は、旨い地ビールを飲み干しながらペタンク談義にも熱がこもった。

◎日時	6月24日	◎場所	北見市川東河川敷公園
◎出場	池田16(5)・北見9(4)・美幌8(6)・安平6(2)・むかわ4(3) 札幌3(3)・森1・士別1(1)・安平池田1・むかわ東京1(1) 甲府1(1) 計51 ※()内は決勝進出チーム数		
◎成績	優勝 オホーツクミント 村上英樹・村上幸江 準優勝 安平FI 藤原一・今井悦子 第3位 むかわ・石川 石川英毅・中道紘一 第4位 美幌・加藤 加藤忠且・大場久子		

◇◇◇第27回日本選手権北海道予選大会◇◇◇

10月27・28日広島県尾道市で開催される第27回日本選手権の道代表出場権を目指して、道内各協会から精鋭が集い、難しいコートに悪戦苦闘しながらも熱戦を繰り広げ、男女各3チームが出場権を獲得した。

本番まで十分時間があるので、チームワークを大切に練習に励み北海道らしい積極的な攻めの試合とマナーの良さで大会を盛り上げる活躍を期待したい。

◎日時	7月1日	◎場所	鶴川中央小学校グラウンド
◎出場	男子 札幌6(2)・池田3(1)・むかわ3(2)・美幌2(2)・安平2 北見1・士別1(1)・白老1 計19 女子 札幌4(2)・池田3(2)・安平2(2)・むかわ1(1)・北見1 美幌2(1) 計13 ※()内は決勝進出チーム数		
◎成績	女子 第1位 美幌岡田 岡田宏将・佐藤英二・磯野憲二 第2位 十勝ワインズB 堀田和信・児玉宣広・森祥恭 第3位 白石わかこまB 村岡稔・納谷実・三浦晃義 第4位 スイートデビルむかわ 柏倉祐一・宮村敦嗣・渡辺博司 男子 第1位 たんぽぽむかわ 中道玲子・長内幸子・内海照子 第2位 十勝ワインズE 塚谷靖子・村瀬美智子・谷本美智子 第3位 真駒内 佐藤小芳・佐久間静子・藪実恵子 第4位 美幌佐藤 高橋雄子・佐藤洋子・宮浦幸子		

◇◇◇第 1 3 回北の大地の夫婦ペタンク大会◇◇◇

北海道らしい快適な涼しさの天候に恵まれ、今大会には道外の京都府、和歌山県、兵庫県、三重県、山梨県、神奈川県から過去最多の9チームと道内の22チームが日本一の夫婦ペタンカーを目指して熱戦を繰り広げた。

ハンディキャップを与える過去優勝チーム5チーム中3チームは予選落ちする展開で、過去準優勝、第3位、第4位と健闘している美幌佐藤ペアは、10チームによるトーメント1回戦11対5、準決勝11対8、決勝は完封勝利で念願の初優勝を飾った。

昨年第3位の村上ペアが準優勝、昨年準優勝の舛田ペアも第4位と活躍した。

◎日 時 7月14日 ◎場 所 美幌町みどりの村多目的広場

◎出 場 札幌3・美幌3(3)・安平2(1)・池田2・士別1・森1(1)・北見1(1)
神戸1・南あわじ1・京都1・和歌山1(1)・名張1・甲府2(1)
愛川1(1)・厚木1(1) 計22

◎成 績 優勝 佐藤ペア 佐藤 功・洋子
準優勝 村上ペア 村上 英樹・幸江
第3位 松木ペア 松木 光茂・弘子
第4位 舛田ペア 舛田 伸永・幸子

◇◇◇第 1 1 回市町村協会選抜対抗交流大会◇◇◇

美幌でペタンクを3倍楽しむためダブルスペタン選手権の前日の交流賞金大会として人気が定着。シングル・ダブルス・トリプルスに各選手を試合毎にオーダーし、7チームによる熱戦が展開された。

札幌協会が北見協会を2勝1敗で制して優勝。北見協会準優勝、むかわ協会Aが第3位。優勝等の賞金は、土産購入など地元経済の活性化に協力いただき、大変感謝です。

◎日 時 7月14日 ◎場 所 美幌町みどりの村多目的広場

◎出 場 むかわ2・美幌1・池田1・北見1・札幌1・クラブ混成1 計7

◎成 績 優勝 札幌協会 準優勝 北見協会
第3位 むかわ協会A 第4位 美幌協会

◇◇◇第 2 4 回北海道ダブルスペタンク選手権大会◇◇◇

前日は夫婦大会・協会選抜対抗大会の表彰式の後、交流会では磯野理事長が毎年工夫を凝らして考案する恒例のペタンクゲームに各協会選抜選手も熱心に挑戦。会場からの声援も多くペタンクの交流が一層深まった。地元の協賛会社など特別賞も例年よりも多く、それぞれ活躍された夫婦選手、ダブルス選手に贈られた。

オホーツクブルーの青空、美幌和牛まつり会場の上空にはモーターパラグライダーが飛び、陽射しも強く気温が徐々に上がる中、61チームの精鋭がペタンクの技を競った。今回は欠場チームに代わり小学生チーム(女子2名)が特別参加。果敢に試合を行い周りから声援を受けて健闘した。今後練習を重ね、中学生になったら一般と対等に試合が出来るよう成長を期待したい。

ベスト8に池田2、むかわ2、北見、美幌、道外2の強豪チームが勝ち進む。今年の日本協会第1次選手強化事業の成績上位の二人が組んだチームMKは、1回戦で強豪甲府陣場に0対8と大きくリードされていたが、徐々に点差を縮めて最後に11対9と大逆転。2・3回戦ともに11対2、準決勝11対5、決勝は前日夫婦で準優勝のオホーツクミントと対戦13対2と実力を発揮し優勝に輝いた。決勝は1回戦から大変見応えのあるいい試合が多かった。道外選手との対戦や試合観戦もペタンク技量の向上に大変効果がある。

- ◎日 時 7月15日 ◎場 所 美幌町みどりの村多目的広場
- ◎出 場 池田15(10)・北見10(3)・美幌6(3)・むかわ5(3)・札幌4(2)
 安平3・士別2・森1・むかわ美幌1(1)・甲府2(1)・名張1
 京都2(2)・南あわじ1(1)・神戸1・愛川1(1)・津1・和歌山1
 室戸1(1)・厚木1(1)・北上1・三重東京1(1) 計61
- ◎成 績 優勝 チームMK(三重東京) 松田浩一・小成裕之
 準優勝 オホーツクミント(北見) 村上英樹・村上幸江
 第3位 美幌・松木 松木弘子・松木真治
 第4位 十勝ワインズD 阿部都知子・野上よし子

◆◆◆ 日本ペタンク・ブール協会の動き ◆◆◆

去る6月17日東京都で平成24年度定時社員総会が開催され、北海道協会から中道紘一正会員が出席した。報告及び議案は提案どおり全て承認された。主な内容は次のとおり。

(詳細は各協会宛議事録等を別途送付)

*事業計画・収支予算関係

ブロック大会増(5大会→8大会)、ジュニアクラブ支援事業の実施、普及指導員制度の復活、競技力向上事業(東西トレーニングセンター・強化合宿を選手強化事業に再編)

予算は会員数減に伴う予算総額の減少、ブロック大会運営費の減額、ブロック講習会等運営費創設など。

*競技関係

7月の選手強化事業の選考方法は、競技部会で総監督佐野裕二、男子監督吉本幸雄、女子監督佐野兼務、ジュニア監督井上勇司を決定しており今後選考する。

ジャパンオープンでのイエローカード(違反)の使用に関して意見が出され、正しいルールの徹底が目的であるが、今後の実施に関して競技部会で検討することとした。

*その(要望等)

会員としてのメリットが必要で競技規則等の配布、機関紙の充実の要望が出された。会員の減少を食い止めるためにも早期に日本体育協会への加盟を果たし、ペタンクを国体種目にする努力をすべきとの要望も出された。

*賛助会員(団体)の募集

法人(団体)の賛助会員を募集するため会費等の規定を改正。入会金5000円、賛助会費一口20000円とし、ブロック連絡協議会で説明し各県協会に地元法人への勧誘を取り組むことを確認した。

*役員選任(任期:平成24年6月~26年6月総会まで)

任期満了に伴い総会において、ブロック理事、学識経験理事及び監事の推薦氏名が報告され、承認された。総会後の理事会において、役員体制が次のとおり決定された。

- ・会長(代表理事) 碓井 進 ・副会長(常務理事兼) 上杉晃央・角田俊彦
- ・専務理事 副島映一 ・常務理事 井上勇司・園田義宣
- ・監 事 竹下 港・戸松篤司
- ・総務部会 部会長 上杉晃央 副部会長 村瀬良臣(国際部長)
 担当理事 黒瀬広志・勝瀬秀秋 委員:千野恒夫・泉 忠明(国際部)
- ・競技部会 部会長 角田俊彦 副部会長 園田義宣
 (指導審判委員会) 委員長 園田義宣 担当理事:西井賢一・畠中昭男
 委員:山本久男・牧原 統・泉 忠明
- (強化委員会) 委員長 佐野祐司 担当理事 松田浩一
 委員:吉本幸雄・岡本正行
- (競技委員会) 委員長 井上勇司 担当理事 並木 明 委員:七尾武元